

令和8年度外債取引等管理システムの更改に係るデータセンタ・ネットワーク回線提供及び運用業務(意見招請)

調達仕様書		意見	意見等の理由	回答
ページ番号	章番号			
4	1.7	5ページにおいて、調達の範囲に「データマネジメント機能における、フロントミドルオフィス機能とのデータ連携、及びネットワーク機器類との配線・設定・接続作業等」との記載があるが、一方で、他調達案件である「令和 8 年度外債取引等管理システムの更改に係るハードウェア等、設計・開発及び保守業務(バックオフィス機能)」調達仕様書(案)5ページ ※4では「ネットワーク機器類については、フロントミドルオフィス機能、バックオフィス機能及びデータマネジメント機能で共用するものを、本調達の対象とする。」との記載があり、特にDC内のネットワーク機器に関して、構成および調達範囲に関して解釈に差異が生じるおそれがある。 具体的には、DC内においては、バックオフィス機能の調達に含まれるネットワーク機器類をハブとして、フロントミドル機能、バックオフィス機能、データマネジメント機能、およびネットワーク回線のCEルータ/ONUが通信するものと想定するが、このように解釈されないおそれがある。 このため、DC内のネットワーク機器の構成および調達範囲が明確となるよう、6ページ「図2 調達の範囲」も含め、記載内容の整理をご検討いただきたい。 また、同図において、ネットワーク回線の境界に位置する機器として、DCではONUのみ、各拠点ではCEルータのみの記載となっているが、通常はCEルータおよびONUをともに設置する構成が想定される。この点についても誤解が生じないよう、記載内容の整理をご検討いただきたい。		バックオフィス機能の調達におけるネットワーク機器類をハブとして、本調達である各拠点のCEルータ及びONUが通信することを想定しております。いただいたご意見を踏まえ、各拠点の通信機器を「CEルータ/ONU」と統一すべく、図2を修正いたします。
4	1.7	4ページにおいて、「加えて、当該3つの機能に各拠点からのアクセスを可能にするネットワークの構築、及び運用保守を行うものとし、拠点間のネットワーク回線は、フロントミドルオフィス機能、バックオフィス機能、データマネジメント機能で共用し、機能毎の敷設は行わないものとする。」との記載があるが、本調達において必要とされるネットワーク回線の要件については、「非機能要件一覧(ネットワーク及びハードウェアの運用)」等において明示されるとの理解でよいのか。 なお、各機能において、アプリケーションレベルの非機能要件(レスポンスタイム等)が明示された場合であっても、他調達のアプリケーションに関する事項であることから、回線レベルで必要となるスペックの特定は困難であると想定される。本調達にあたっては、回線レベルの帯域、冗長構成等の明示が必要と考えており、記載内容の整理をご検討いただきたい。		本調達において求められる帯域等の通信設備については、入札公告時に閲覧・交付する非機能要件に記載いたしますので、そちらをご参照いただけるようお願いいたします。ご参考ですが、拠点接続用専用回線及びデータ同期用専用回線の帯域につきましては、現時点で、それぞれ、20Mbps、10Mbpsを想定しております。
4	1.7	データマネジメント機能のハードウェア調達に関連し、開発時及び保守時における環境アクセスについて、想定されているアクセス経路をご教示いただきたい。 なお、アクセス経路の前提によっては、セキュリティ要件やネットワーク構成、運用設計に影響が生じる可能性があるため、併せてご確認いただきたい。		データマネジメント機能へのアクセスについて、本番環境及び災害対策環境に対しては、開発時及び保守時のいずれの場合もバックオフィス機能が調達する運用端末を利用して各拠点からアクセスすることを想定しております。なお、検証環境に対してのアクセスは、データマネジメント事業者の拠点からインターネット回線を利用したアクセスとすることを想定しております。
4	1.7	5ページにおいて、調達の範囲に「データマネジメント機能のハードウェア調達、それらの設計・設置・テスト・運用保守の実施」との記載があるが、本調達において必要とされるハードウェア等の要件については、「非機能要件一覧(ネットワーク及びハードウェアの運用)」等において明示されるとの理解でよいのか。 なお、データマネジメント機能において、アプリケーションレベルの非機能要件(レスポンスタイム等)が明示された場合であっても、他調達のアプリケーションに関する事項であることから、ハードウェアレベルで必要となるスペックの特定は困難であると想定される。 本調達にあたっては、ハードウェアレベルの必要CPU、メモリ、ディスク等のスペックや冗長構成等の明示が必要と考えており、記載内容の整理をご検討いただきたい。		ご認識のとおりです。現時点にて想定している仕様を以下のとおり表示いたしますが、入札公告時の非機能要件にて改めてご確認いただけるようお願いいたします。 【AP・Webサーバ】 ・CPU: 以下のいずれかと同等以上の性能を有すること。 - Intel Xeon Scalable 第2世代以上 - AMD EPYC 同世代相当以上 (目安: 物理コア数 8コア程度) ・メモリ: 32GB程度以上とすること。 ・ストレージ: 300GB、かつアプリケーション及びデータベースの稼働に必要な十分なI/O性能を有するストレージ構成とし、SSD等の高速ストレージを利用することを妨げない。 ・ミドルウェア: IIS等のWebサーバ機能を有するものを使用すること。また、.NET Frameworkまたは .NETによりWebアプリケーションを実行可能であること。 ・OS: 使用するミドルウェアおよび .NET 実行環境のサポート対象OSを使用すること。 ※Windows Server等、同等の機能・性能を有する製品を含む。 【DBサーバ】 ・CPU: 以下のいずれかと同等以上の性能を有すること。 - Intel Xeon Scalable 第2世代以上 - AMD EPYC 同世代相当以上 (目安: 物理コア数 16コア程度) ・メモリ: 32GB程度以上とすること。 ・ストレージ: 1TB、かつアプリケーション及びデータベースの稼働に必要な十分なI/O性能を有するストレージ構成とし、SSD等の高速ストレージを利用することを妨げない。 ・ミドルウェア: 商用DBMSを使用すること。Microsoft SQL Server等、同等の機能・性能を有する製品を含む。 ・OS: 使用する商用DBMSのベンダが公式にサポートするOSを使用すること。 ※Windows Server等、同等の機能・性能を有する製品を含む。 【FTPサーバ】 ・CPU: 以下のいずれかと同等以上の性能を有すること。 - Intel Xeon Scalable 第2世代以上 - AMD EPYC 同世代相当以上 (目安: 物理コア数 2コア程度) ・メモリ: 4GB程度以上とすること。 ・ストレージ: 40GB ・ミドルウェア: SFTPによるファイル転送機能を有するソフトウェアを使用すること。 ・OS: 使用するミドルウェアのサポート対象OSを使用すること。 ※Linux系OSを基本とし、同等の機能・運用性を有する製品を含む。 【ゲートウェイサーバ】 ・CPU: 以下のいずれかと同等以上の性能を有すること。 - Intel Xeon Scalable 第2世代以上 - AMD EPYC 同世代相当以上 (目安: 物理コア数 8コア程度) ・メモリ: 16GB程度以上とすること。 ・ストレージ: 100GB ・ミドルウェア: オンプレミス環境とクラウド環境を接続する機能を有するソフトウェアを使用すること。 ・OS: 使用するミドルウェアのサポート対象OSを使用すること。 ※Windows系OSを利用するものとし、同等の機能・運用性を有する製品を含む。
4	1.7	左記の「情報セキュリティソフト」とは本調達の範囲内であるデータマネジメント機能のハードウェア向けと理解して良いでしょうか。それとも別調達のハードウェア向けでしょうか。 受注者が提供する「情報セキュリティソフト」の適応範囲を明確にご教授ください。	調達範囲と役務範囲を明確にするため。	情報セキュリティソフトにつきましては、記載のとおり、ONU、CEルータ等のネットワーク機器類へ適用していただきます。
4	1.7	テレワークで利用する端末はGSS端末のほかに運用端末も含まれるのでしょうか。	調達範囲と役務範囲を明確にするため。	テレワークで利用する端末はGSS端末のみであり、運用端末は含まれません。
4	1.7	左記に関しては本調達で提供するデータセンタの電源設備のことを指していますでしょうか。それとも、通常時執務室及び災害時執務室までも含む理解でよろしいでしょうか。 また、データセンタ、通常時執務室及び災害時執務室において、どのくらいの電源を用意しなければならぬかご教授ください。	調達範囲と役務範囲を明確にするため。	ご認識のとおり、データセンタの電源設備を指しております。通常時執務室・災害時執務室は含んでおらず、別途電源をご用意いただくことも想定しておりません。データセンタにおける電源設備の詳細は、入札公告時に非機能要件にて開示いたしますが、ご用意いただきたい電源設備は以下を想定しています。 ・非常用電源設備(48時間以上の電源供給が可能であること) ・無停電源装置(サーバールーム専用のCVCF設備を設置し、常時安定した電源を供給可能なこと) ・各ラックに設置する機器類に必要な電源の供給が可能であり、専用の電源配線・タップを設けること。また、冗長化機器に対しては、2系統で電力供給が可能なこと。 ・各ラック(計2つ)へのAC100Vまたは200Vで6kVAの電源供給 ・各ラックに1系統18口数以上のコンセントを用意すること

6	1.7	左記の図にある調達範囲において以下の仕様の提示をお願いします。 ・拠点接続用専用回線：速度についてご教授ください。 ・データ同期用専用回線：速度についてご教授ください。 ・データマネジメント機能：CPU、メモリ、ストレージ容量についてご教授ください。	コストや選定機器/サービスのサイジングを行うため。	拠点接続用専用回線及びデータ同期用専用回線の帯域につきましては、それぞれ、20Mbps、10Mbpsを想定しております。 データマネジメントの機器スペックについては、入札公告時の非機能要件にて開示予定ですが、現時点での想定は以下の通りです。 【AP・Webサーバ】 ・CPU：以下のいずれかと同等以上の性能を有すること。 － Intel Xeon Scalable 第2世代以上 － AMD EPYC 同世代相当以上 （目安：物理コア数 8コア程度） ・メモリ：32GB程度以上とすること。 ・ストレージ：300GB、かつアプリケーション及びデータベースの稼働に必要な十分なI/O性能を有するストレージ構成とし、SSD等の高速ストレージを利用することを妨げない。 ・ミドルウェア：IS等のWebサーバ機能をするものを使用すること。また、.NET Frameworkまたは .NETによりWebアプリケーションを実行可能であること。 ・OS：使用するミドルウェアおよび .NET 実行環境のサポート対象OSを使用すること。 ※Windows Server等、同等の機能・性能を有する製品を含む。 【DBサーバ】 ・CPU：以下のいずれかと同等以上の性能を有すること。 － Intel Xeon Scalable 第2世代以上 － AMD EPYC 同世代相当以上 （目安：物理コア数 16コア程度） ・メモリ：32GB程度以上とすること。 ・ストレージ：1TB、かつアプリケーション及びデータベースの稼働に必要な十分なI/O性能を有するストレージ構成とし、SSD等の高速ストレージを利用することを妨げない。 ・ミドルウェア：商用DBMSを使用すること。Microsoft SQL Server等、同等の機能・性能を有する製品を含む。 ・OS：使用する商用DBMSのベンダが公式にサポートするOSを使用すること。 ※Windows Server等、同等の機能・性能を有する製品を含む。 【FTPサーバ】 ・CPU：以下のいずれかと同等以上の性能を有すること。 － Intel Xeon Scalable 第2世代以上 － AMD EPYC 同世代相当以上 （目安：物理コア数 2コア程度） ・メモリ：4GB程度以上とすること。 ・ストレージ：40GB ・ミドルウェア：SFTPによるファイル転送機能を有するソフトウェアを使用すること。 ・OS：使用するミドルウェアのサポート対象OSを使用すること。 ※Linux系OSを基本とし、同等の機能・運用性を有する製品を含む 【ゲートウェイサーバ】 ・CPU：以下のいずれかと同等以上の性能を有すること。 － Intel Xeon Scalable 第2世代以上 － AMD EPYC 同世代相当以上 （目安：物理コア数 8コア程度） ・メモリ：16GB程度以上とすること。 ・ストレージ：100GB ・ミドルウェア：オンプレミス環境とクラウド環境を接続する機能を有するソフトウェアを使用すること。 ・OS：使用するミドルウェアのサポート対象OSを使用すること。 ※Windows系OSを利用するものとし、同等の機能・運用性を有する製品を含む。
6	1.8	昨今の調達状況を踏まえると、機器等の調達に係るリードタイムについては、一般的に半年程度を要するケースが多く、構成・供給状況によってはそれ以上となる可能性がある。また、機器納入後の環境構築等についても、相応の期間を要することが想定される。 本調達においては、要件定義後に機器調達を実施する想定と理解しているが、提示されているスケジュール案から推定されるハードウェア等のデータマネジメント機能事業者への開放時期までに、機器調達および構築に係る期間（各環境で行う基盤系テストの期間も含む）が十分に確保されているとは言えず、当該期間内にこれらを完了することは困難と見込まれ、実現性に懸念がある。 このため、機器調達に係るリードタイムおよび構築期間を踏まえたスケジュールの見直しをご検討いただきたい。		機器調達に係るリードタイムについては、昨今の市場環境を踏まえ一定の理解をいたしますが、本件は外債取引等管理システムのデータセンタ・ネットワーク機能に係る調達であり、現行契約期間および令和10年1月の稼働開始予定との整合上、リリーススケジュール自体を後ろ倒しすることは困難と考えます。 また、本件は取引量や利用時間帯の変動に応じてネットワークに係る性能要件を大きく見直す性質のものではなく、むしろ稼働開始時期を確実に遵守するため、非機能要件のうち優先度の高い事項を明確化し、構成・機器選定・調達方式の工夫によりリードタイムを確保していただくことが適当と考えます。 したがって、スケジュール変更は行わず、現行の稼働開始予定を前提として、機器調達リスクを織り込んだ実現可能な構成案・代替案を早期に提示いただき、リリース日程に間に合わせる方向でご対応いただきたいと思います。
7	2.1	6～7ページにおいて次期システムの構築スケジュール及び本調達の作業スケジュールの記載があり、想定スケジュールは、2026/10～2027/12が導入工程、2028/1～2030/12が運用保守工程と認識している。 一方で、8ページにおいて、関連調達案件である「令和 8 年度外債取引等管理システムに係るデータマネジメント機能導入及び運用保守業務」(以下、データマネジメント案件)は、本調達から2～3ヶ月遅れて公告および開札が行われる旨の記載がある。 本調達では、データマネジメント機能におけるハードウェア・ネットワーク機器の調達が含まれることから、データマネジメント案件と密接な関連があるが、データマネジメント案件のスケジュールが不明であり、また、本調達のスケジュールとの関連も明確でないことから、次期システム全体の導入が想定スケジュール通り進まないことが懸念される。 具体的には、以下の点が不明瞭と想定している。 ・データマネジメント案件の各工程の期間と運用保守開始時期 ・運用保守開始時期が2028/1(本調達と同じ)の場合には、次期システム全体スケジュールとの合流ポイント ・ハードウェア等のデータマネジメント機能事業者への開放時期(検証環境、本番環境、災対環境等の環境ごと) 上記の件を含め、データマネジメント案件との関連も明確化した想定スケジュールの記載を検討いただきたい。 なお、17ページにおいて表 2 データセンタ・ネットワーク回線に係る業務の成果物にて、機器(ハードウェア等)の納入期限(現時点の想定)が詳細設計終了後の構築工程開始前とすると記載されていることは認識しているが、これも時期が不明瞭なため、環境ごとの明確化を検討いただきたい。		いただいたご意見を踏まえ、調達仕様書にデータマネジメント機能の調達に係るスケジュールを追記いたします。 データマネジメント機能については、2028年4月稼働開始を予定しており、各工程は以下を想定しています。 ・計画フェーズ：2027年1月(1か月) ・要件定義：2027年2月～2027年4月(3か月) ・設計・開発・結合テスト：2027年5月～2027年9月(5か月) ・総合テスト：2027年10月～2027年12月(3か月) ・受入テスト：2028年1月～2028年2月(2か月) ・データ移行：2028年3月(1か月)
9	3	非機能要件に係る資料に関して、現段階で閲覧させていただけないでしょうか。 閲覧した段階で、時間が足りずに調整がつかず、入札を断念しなければならない場合が発生することがあります。	入札参加を断念する可能性を減らすため。	大変恐れ入りますが、機微情報を含む関係上、入札公告前の開示はしておりません。入札公告時に秘密保持契約を結んだうえで、閲覧していただくこととなります。
12	2.2(6)	左記の災害対策訓練や停電対応の内容を具体的にご教授ください。	コストや工数を算出するため。	具体的な内容については、要件定義工程で策定することになりますが、現時点において、災害対策訓練につきましては、災害対策拠点(2拠点)において、本番環境から災害対策環境への切り替え作業を実施していただくことを想定しております。また、停電対応については、停電が発生することが見込まれる場合、事前にアラートの一時停止等にご対応いただくことを想定しております。
17		データセンタ・ネットワーク回線に係る業務の成果物と表3 データマネジメント機能の敷設、運用保守に係る成果物は別々のドキュメントとして提出しなければならないのでしょうか。 別々のドキュメントとして提出するを想定されているのであれば、コスト削減の観点から成果物を纏めてはいかがでしょうか。	コストや工数の削減のため。	成果物に係るドキュメントの構成等につきましては、受注者、外債取引等管理システム支援事業者及び財務省にて協議のうえ、検討していくことを想定しております。
24	5.2	左記に関しては厳しすぎと思われるため、以下の内容のように条件を緩和できないでしょうか。 他の省庁で本調達と同規模以上の調達において記載されている内容となります。 (1) 統括責任者は以下の条件を満たすこと。 ① 情報処理業務(システム開発・運用保守等)に係る経験を5年以上有すること。 ② システム開発・導入に係るプロジェクト管理の経験を3年以上有すること。 ③ 次のいずれかに該当すること。 ・ 国家資格の技術士(情報工学部門又は総合技術監理部門(情報工学を選択科目とする者))の資格を有する者。 ・ 情報処理技術者試験のうちプロジェクトマネージャ試験の合格者 ・ プロジェクトマネジメント協会(PMI)が認定するプロジェクトマネジメントプロフェッショナル(PMP)の資格保有者。 ・ 上記のいずれかの試験合格者・資格保有者等と同等の能力を有することが、経歴等において、明らかな者。	適切な要員の選定のため。	いただいたご意見を踏まえ、統括責任者に求める要件を下記のとおりいたします。 (1) 統括責任者は以下の条件を満たすこと。 ① 情報処理業務(システム開発・運用保守等)に係る経験を10 年以上有すること。 ② システム開発・導入に係るプロジェクト管理のPM経験を5 年以上有すること。 ③ 現行システムと同程度の規模や難易度のプロジェクト管理経験を有すること。 ④ 次のいずれかの資格要件を満たすこと。 ・ 情報処理推進機構が認定する「ネットワークスペシャリスト試験」の合格者 ・ 情報処理推進機構が認定する「プロジェクトマネージャ試験」の合格者 ・ 米国プロジェクトマネジメント協会が認定するプロジェクトマネジメントに関する国際資格「PMP」の資格保持者
24	5.2	左記に関しては厳しすぎと思われるため、以下の内容のように条件を緩和できないでしょうか。 他の省庁で本調達と同規模以上の調達において記載されている内容となります。 (3) グループ責任者(システム運用保守)は以下の条件を満たすこと。 ① 国、地方自治体、民間金融機関等の業務に関するシステムの運用保守支援について、3 年以上の経験を有すること。 ② 現行システムと同程度の規模や難易度のシステム運用保守経験を有する者。 ③ 次のいずれかに該当すること。 ・ ITIL Foundationを取得していること。 ・ 「経済産業省のIT スキル標準V3」の「IT サービスマネジメント(スキルレベル3)」相当を有すること。	適切な要員の選定のため。	いただいたご意見を踏まえ、保守を担当するリーダーに求める要件を下記のとおりいたします。 (3) グループ責任者(システム運用保守)は以下の条件を満たすこと。 ① 国、地方自治体、民間金融機関等の業務に関するシステムの運用保守支援について、3 年以上の経験を有すること。 ② 現行システムと同程度の規模や難易度のシステム運用保守経験を有すること。 ③ 次のいずれかの資格要件を満たすこと。 ・ 情報処理推進機構が認定する「ITサービスマネージャ試験」の合格者 ・ PeopleCertが認定する「ITIL4 Foundation」の資格保持者
31	8.1.3(3)	「現行の外債取引等管理システムにおいて採用しているフロントミドルオフィス機能又はバックオフィス機能のシステムと同等の機能」とありますが、資料閲覧ができていないため、どのような機能なのか把握が難しいです。入札公告時に資料閲覧が来てでも入札に参加できない可能性もあるため、資料閲覧を早期に実施いただけないでしょうか。	要件の明確化のため。	大変恐れ入りますが、機微情報を含む関係上、入札公告前の開示はしておりません。入札公告時に秘密保持契約を結んだうえで、閲覧していただくこととなります。